

物流における取り組み

Green Earth

物流のあらゆる工程でも、環境を考えた独自の施策を推進します。

富士通グループの環境活動は、ここまでご紹介した製造や社会貢献の分野にとどまりません。製品や部材、リサイクル品などの物流を担当する富士通ロジスティクスでは、製品の包装設計から保管・輸送に至る一連の物流工程から発生する環境負荷を軽減するため、さまざまな施策を展開中です。

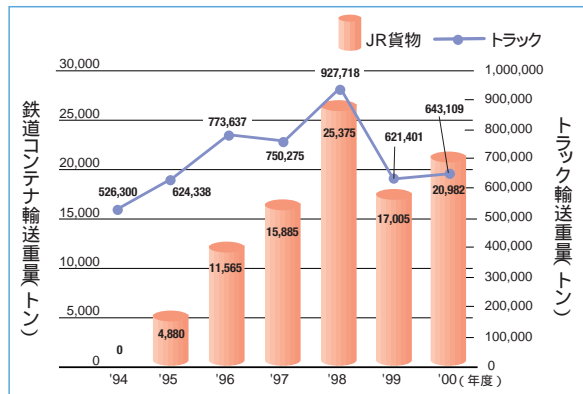
富士通グループは、これからも、企業活動のあらゆる分野で環境への取り組みを続けます。

主な環境政策と推進状況

モーダルシフト*1の推進

輸送工程で発生するCO₂、窒素酸化物や硫黄酸化物の排出を削減するため、1995年以降、トラック中心の輸送体制から鉄道輸送を組み合わせたモーダルシフトを積極的に推進しています。

輸送製品重量の推移



包装材の使用量削減とリターナブル化*2

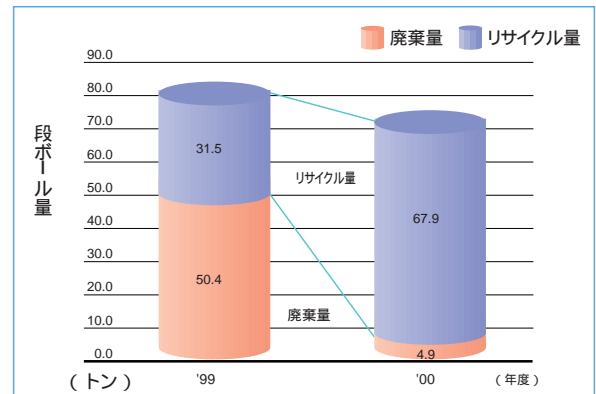
森林資源の保護および木材消費(くん蒸)処理規制の強化へ対応するため、輸出入包装材を木箱からスチールコンテナへ切り替えています。特に海外向け通信製品などで積極的に使用しています。



使用済み段ボールのリサイクル推進

東京物流センターでは、環境マネジメントシステム活動として、使用済み段ボールのリサイクルを目標値の一つに設定。その達成に取り組んでいます。たとえば使用済み段ボールを当社で製作する紙系緩衝材への材料として活用するなど、廃棄物削減への成果を上げています。

廃棄段ボール量の推移



国内POSターミナル製品の包装を削減するため、包装レスで製品を輸送できるリターナブル台車を開発。従来の段ボール箱を使用した輸送から切り替えました。リターナブル台車は、パソコンの移設作業など他製品の包装レス化にも積極的に活用しています。



*1～*2の用語説明については、49ページをご覧ください。